



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月31日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4923 URL <https://www.cota.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
問合せ先責任者 (役職名)取締役広報・IR部長 (氏名)西村 充弘 TEL (0774) 44-4923
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,597	7.0	△49	—	△37	—	△33	—
2025年3月期第1四半期	1,492	△11.9	△88	—	△103	—	△81	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△1.21	—
2025年3月期第1四半期	△2.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	13,046	10,618	81.4
2025年3月期	14,877	11,207	75.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期10,618百万円 2025年3月期11,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,668	3.1	1,916	4.6	1,948	6.2	1,368	4.9	49.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	32,934,663株	2025年3月期	32,934,663株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	5,185,565株	2025年3月期	5,185,201株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	27,749,252株	2025年3月期1Q	28,230,186株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられました。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇による個人消費への影響が懸念される等、先行きは不透明な状況が続いております。

美容業界におきましては、美容室経営の二極分化が進んでおり、多くの美容室では来店客数の減少や客単価の伸び悩み、生産性の低下等、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「女性は髪からもっと美しくなれる」というコーポレートスローガンのもと、美容室でのカウンセリングを通じて、来店客に対して付加価値の高いヘアケア提案を行っております。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントの主力ブランド「コタ アイ ケア」を中心に美容室での販売を推進することで、多くの「女性のキレイ」を髪から応援しております。また、創業精神である「美容業界（美容室経営）の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」と「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行っております。

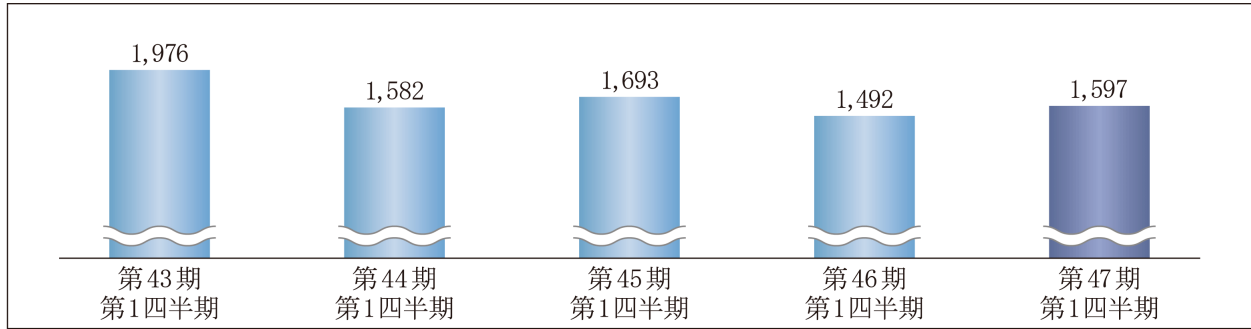
売上高につきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売が堅調に推移したことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては増収により増加し、販売費及び一般管理費につきましては、人材採用に関連する経費等の増加により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,597百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業損失は49百万円（前年同四半期は営業損失88百万円）、経常損失は37百万円（前年同四半期は経常損失103百万円）、四半期純損失は33百万円（前年同四半期は四半期純損失81百万円）となりました。当社は営業戦略上、売上高及び各利益の構成比率は下半期のウエイトが大きく、特に第1四半期の構成比率は小さくなっているため、通期に対する影響額は小さいものと判断しております。なお、以下のグラフのとおり第43期第1四半期の業績が突出しておりますが、これはトイレタリーのトップブランド「コタクチュール」の発売によるものであります。

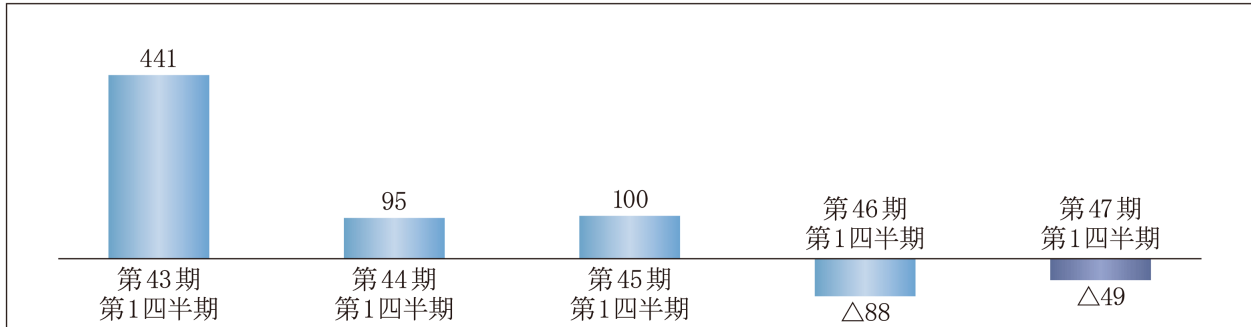
売上高

(単位:百万円)



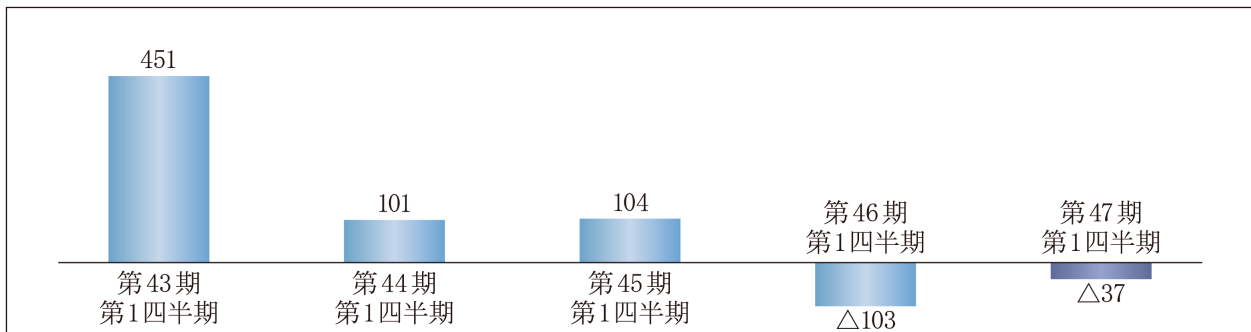
営業利益又は営業損失

(単位:百万円)



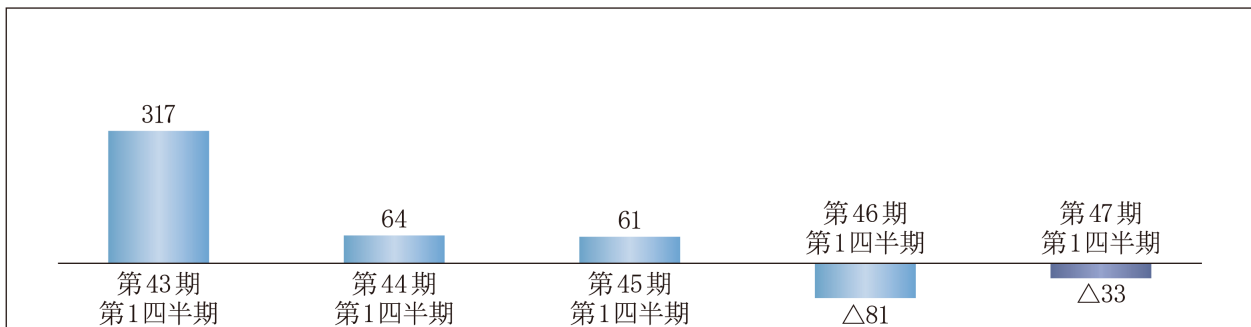
経常利益又は経常損失

(単位:百万円)



四半期純利益又は四半期純損失

(単位:百万円)



なお、当社は美容室向けの頭髮用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は以下のとおりであります。

区分	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	1,059	67.6	1,149	68.5	89	8.5
整髪料	302	19.3	346	20.7	43	14.5
カラー剤	80	5.1	48	2.9	△31	△39.3
育毛剤	76	4.9	76	4.5	△0	△0.0
パーマ剤	23	1.5	29	1.7	5	25.2
その他	25	1.6	28	1.7	2	8.0
小計	1,568	100.0	1,678	100.0	110	7.0
売上高控除	△75	—	△81	—	△5	—
合計	1,492	—	1,597	—	104	7.0

当社は、2つのミッションである「世の中の美容室を一軒でも多く近代経営に導く」と「世の中の女性を一人でも多く髪から美しくする」を実現するために、トイレタリーの販売を中心とした「店販」を推進しながら、美容室の経営改善システムである「旬報店システム」を軸とした美容室の経営コンサルティング（コンサルティング・セールス）を展開することで、成長・繁栄につながるさまざまな提案を美容室に行っております。

そのため売上高に占めるトイレタリーの割合は、同業他社に比べ高いことが特徴であります。

（2）当四半期累計期間の財政状態の概況

（総資産）

当第1四半期会計期間の総資産は、前事業年度から1,831百万円減少し、13,046百万円となりました。

主な要因としては、商品及び製品が228百万円増加し、現金及び預金が1,658百万円、売掛金が399百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間の負債は、前事業年度から1,242百万円減少し、2,427百万円となりました。

主な要因としては、未払金が699百万円、未払法人税等が533百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間の純資産は、前事業年度から589百万円減少し、10,618百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が588百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、81.4%（前事業年度75.3%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、売上高及び各利益の構成比率は下半期のウエイトが大きく、特に第1四半期の構成比率は小さくなっております。当第1四半期累計期間の営業損失、経常損失及び四半期純損失が通期の業績に与える影響は、小さいものと判断しております。

今後の見通しにつきましては、原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇による個人消費への影響が懸念される等、先行きは不透明な状況であるものの、当社独自のビジネスモデルである「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」と「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」を引き続き展開し、お取引先美容室の業績向上につなげてまいります。

以上に加え、下半期のウエイトを勘案した結果、現時点において2025年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,167,478	3,509,402
売掛金	1,574,566	1,175,555
商品及び製品	1,436,324	1,664,568
仕掛品	55,660	67,878
原材料及び貯蔵品	585,686	594,342
その他	79,223	94,970
貸倒引当金	△756	△140
流動資産合計	8,898,184	7,106,577
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,381,160	2,340,888
土地	2,079,731	2,079,731
その他（純額）	472,389	461,419
有形固定資産合計	4,933,280	4,882,039
無形固定資産	167,714	172,541
投資その他の資産	878,764	885,367
固定資産合計	5,979,758	5,939,947
資産合計	14,877,943	13,046,524
負債の部		
流動負債		
買掛金	197,123	208,011
未払金	904,813	205,392
未払法人税等	544,193	10,922
賞与引当金	296,186	152,916
役員賞与引当金	1,562	9,103
その他	343,730	502,622
流動負債合計	2,287,609	1,088,968
固定負債		
退職給付引当金	158,609	130,653
役員退職慰労引当金	783,440	773,260
資産除去債務	261,313	261,514
長期預り保証金	179,100	173,600
固定負債合計	1,382,463	1,339,028
負債合計	3,670,072	2,427,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	642,483	642,483
利益剰余金	13,989,551	13,400,858
自己株式	△3,812,430	△3,812,951
株主資本合計	11,207,404	10,618,190
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	466	336
評価・換算差額等合計	466	336
純資産合計	11,207,870	10,618,527
負債純資産合計	14,877,943	13,046,524

（２）四半期損益計算書

第 1 四半期累計期間

（単位：千円）

	前第 1 四半期累計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月30日）	当第 1 四半期累計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日）
売上高	1,492,264	1,597,017
売上原価	407,703	444,066
売上総利益	1,084,561	1,152,950
販売費及び一般管理費	1,173,421	1,202,092
営業損失（△）	△88,860	△49,142
営業外収益		
受取利息	625	4,322
受取配当金	1,742	602
固定資産売却益	2,451	180
業務受託料	2,400	2,400
違約金収入	280	2,143
その他	1,424	1,740
営業外収益合計	8,924	11,388
営業外費用		
支払手数料	23,150	—
固定資産除却損	0	18
その他	586	55
営業外費用合計	23,736	74
経常損失（△）	△103,672	△37,828
税引前四半期純損失（△）	△103,672	△37,828
法人税、住民税及び事業税	4,051	3,716
法人税等調整額	△26,587	△7,840
法人税等合計	△22,536	△4,123
四半期純損失（△）	△81,136	△33,704

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社は美容室向けの頭髮用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	89,104 千円	75,362 千円